

△バップフォー錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 プロピベリン塩酸塩 propiverine hydrochloride 【分類】 尿失禁・頻尿治療剤

【単位】 △10mg/錠・△20mg/錠

【常用量】 20mg/日 [最大 40mg/日]

【用法】 1日1回食後 [最大 20mg 1日2回まで]

【透析患者への投与方法】 透析患者への投与方法に言及した報告はないが、活性代謝物があるため要注意 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎不全患者への投与方法に言及した報告はないが、活性代謝物があるため要注意 (5)

【特徴】 抗コリン作用と平滑筋直接作用 (カルシウム拮抗作用) により、膀胱の異常収縮を抑制し尿失禁、頻尿を改善。残尿量を有意に増加させることなく膀胱容量を増加させる。

【主な副作用・毒性】 横紋筋融解症、血小板減少、SJS、QT 延長、心室性頻拍、肝機能障害・黄疸、急性緑内障発作、尿閉、麻痺性イレウス、幻覚、せん妄など

【吸収】 吸収率 84.5% (Eur J Drug Metab Pharmacokinet 13: 81-90,1988)

【F】 48.9% (Eur J Drug Metab Pharmacokinet 13: 81-90,1988) ラットでは腸肝循環する (1)

【tmax】 1.6hr (1)

【代謝】 CYP3A4 で代謝され主要代謝物 N-オキシド体となる (1) その他に側鎖のプロピル基の酸化、脱アルキル体、N-脱メチルピペリジノ基を持つ代謝物、グルクロン酸抱合体などに代謝される (Eur J Drug Metab Pharmacokinet 13: 81-90,1988) 代謝物 M2 には活性があり、ムスカリン受容体への親和性はアトロピンと同等 (Eur J Drug Metab Pharmacokinet 18: 265-72,1993) M1 と M2 は活性がある (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1%未満 (1) M-1, M-2 としてそれぞれ 5%未満が尿中に回収 (1) 投与量の 1.4~6%が N-oxidized 体の代謝物として尿中に排泄される (Eur J Drug Metab Pharmacokinet 18: 265-272,1993)

【CL/F】 580mL/min (1)

【t1/2】 4.1hr (Eur J Drug Metab Pharmacokinet 13: 81-90,1988)

【蛋白結合率】 91.2% (1) M-1 : 61.6%, M- : 18.9% (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 403.94

【透析性】 蛋白結合率が高いため透析で除去されにくいと考えられる (5) 資料なし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 6980 [クロロホルム/buffer, pH7] (1) 【pKa】 8.57 (1)

【相互作用】 CYP3A4 で代謝されるが阻害活性はない。CYP1A, 2C シリーズの阻害作用は認められていない (1)

【更新日】 20190912

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。